

# 令和8年産稲作ごよみ



適切な管理でこれらの発生を減らしましょう。

# 温暖化に打ち勝つなのはな米を作るう!!

なのはな農業協同組合  
なのはな農協地区農業技術者協議会

- JA米生産基準
1. 種子更新100%
  2. 農産物検査の受検
  3. 生産基準にもとづく生産履歴記載
- 上記3つの要件を満たしたお米をJA米として取扱います。

おいしいお米  
なのはなブランド  
「八町米」

「安全・安心」な米づくり

- ・出荷米の生産履歴記載率100%
- ・適正農業規範に基づくGAPの実践

月日	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月									
水管理	深水			浅水(チラ干しにしない)			中干し			間断かん水(干しすぎない)			飽水管理			湛水管理(水を切らさない)			間断かん水(落水は急がない)		

## コシヒカリの栽培管理ポイント

- 堆肥・珪酸質資材の積極的な施用や地力増進作物の活用
- 1 有機物の施用**
    - ・牛・豚ふん堆肥 …1~2t/10a
    - ・発酵けいふん …100~150kg/10a
    - ・稲わらは全量すき込む
    - ・地力増進作物のすき込み(ヘアリーベッチ、レンガ)
  - 2 土壌改良資材の施用**
    - ・珪酸石灰 …200kg/10a
    - ・シンキョーライトP …60kg/10a
    - ・シリカロマン …100kg/10a
    - ・新アサヒニューテツ …100~150kg/10a
    - ・スーパーけいさん鉄 …100kg/10a
  - 3 深耕し(現状+3cm)**
    - ・秋耕しと春耕しの2回耕しが効果的
- ◎ 畦づくり ◎  
水漏れ防止や20日間の湛水に備えた畦の高さの確保

丈夫な苗をつくる

計画的な育苗作業を田植日にあわせて

● 育苗日数は播種から19日間以内として老化苗にならないようにする  
● 一箱当たり100gでカッチリ苗にする

かん水及び換気の徹底

● 搬出直後から換気し、ハウス内の温度は昼間は25℃以下で管理する

比重選から田植までのスケジュール

比重選・水沍・種子消毒	4月15日頃
乾燥	4月16日頃
浸種	4月17日頃
播種	4月26日頃
田植	5月15日頃

温度管理の目安

生育期	緑化期	硬化期
育苗日数	2~3	13~15
温度	昼 25℃以下	夜 10℃以上

- 太い分げつを早くとる
- 質の良い分げつを早くとる  
活着後、浅水管理(水深3cm)で除草剤は適期に散布する  
植付本数は3~4本で3cmの浅植にする  
栽植密度は70株を確保!  
田植後は5月15日を中心に!  
基肥は標準量を確実に施用する
- 苗箱施肥による病害虫の防除  
代かきでの均平はていねいに行う
- 田面に軽く亀裂が入るほど中干しし、地耐力を高める  
● 田植後4週間までに中干しを開始
- 6月上旬に溝掘りの実施
- 溝掘り前に軽い田干しの実施
- 中間追肥(カリ資材等)を散布する  
中干し後、幼穂形成期まで間断かん水
- 畦畔農道等の草刈りを徹底する

根を十分に張らす

幼穂形成期から出穂期まで飽水管理

分施肥体系の穂肥

- 二回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する
- 慎重に施用する
- 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し
- 分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

傾穂期防除の徹底(カメムシ類、ツマグロヨコバイ)

穂揃期防除の徹底(いもち病、ウンカ類、カメムシ類)

● 穂体の活力維持のため、必要に応じて水の入れ替えによる水温低下を図る

● 出穂後20日間湛水管理 ↓カドミウムの吸収抑制

● 穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導(砂壌土地帯は4.5)

● 出穂7日前の葉色が4.0以下の場合追加穂肥を施用(砂壌土地帯は4.2)

● 二回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する

● 慎重に施用する

● 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し

● 分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

倒伏させずに、登熟を高める

刈取り7日前までの間断かん水を徹底

※特にフェーンが予想される場合は事前に灌水する

↓ 胴割れ粒の発生防止

乾燥機・初すり機等の点検整備

● 高温年は、初黄化率80%から刈取る

● 初黄化率85~90%頃に刈取る

● 傾穂期防除の徹底(カメムシ類、ツマグロヨコバイ)

● 穂揃期防除の徹底(いもち病、ウンカ類、カメムシ類)

● 穂体の活力維持のため、必要に応じて水の入れ替えによる水温低下を図る

● 出穂後20日間湛水管理 ↓カドミウムの吸収抑制

● 穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導(砂壌土地帯は4.5)

● 出穂7日前の葉色が4.0以下の場合追加穂肥を施用(砂壌土地帯は4.2)

● 二回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する

● 慎重に施用する

● 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し

● 分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

おいしく仕上げる

1.9mmの網目を使用し、細粒や屑米の混入を防止し良質米の出荷に努める

初すりの前に水分を再確認する

胴割れ発生防止のため、ゆっくり乾燥する(毎時乾減率0.8%以下)

適正な乾燥で玄米水分「14.5~15.0%」

● 傾穂期防除の徹底(カメムシ類、ツマグロヨコバイ)

● 穂揃期防除の徹底(いもち病、ウンカ類、カメムシ類)

● 穂体の活力維持のため、必要に応じて水の入れ替えによる水温低下を図る

● 出穂後20日間湛水管理 ↓カドミウムの吸収抑制

● 穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導(砂壌土地帯は4.5)

● 出穂7日前の葉色が4.0以下の場合追加穂肥を施用(砂壌土地帯は4.2)

● 二回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する

● 慎重に施用する

● 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し

● 分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

## 土壌にあった施肥でおいしい米づくり

本田施肥設計例(10a当たり)

● 基肥一発肥料の場合

品種名	土質	基肥		中間追肥(6月下旬)		備考
		側条施肥	設計I	設計II	設計I	
コシヒカリ	砂質田	Jコートコシヒカリ1号	40kg	15kg	20~40kg	● 基肥一発肥料を使用した場合でも出穂前に葉色が濃い場合は、追加穂肥を施用しましょう。 ● 基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	Jコートコシヒカリ2号	35kg	15kg	20~40kg	
	粘質田	Jコートコシヒカリ2号	30kg	15kg	20~40kg	
てんたかく	砂質田	エコ早生専用	45kg	15kg	20~40kg	● 基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	エコ早生専用	40kg	15kg	20~40kg	
	粘質田	エコ早生専用	35kg	15kg	20~40kg	
てんちり	砂質田	LPSS 晩生専用	50kg	15kg	20~40kg	● 基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	LPSS 晩生専用	45kg	15kg	20~40kg	
	粘質田	LPSS 晩生専用	40kg	15kg	20~40kg	

● 分施肥の場合

品種名	土質	基肥・早期追肥		全層施肥				中間追肥(6月下旬)		穂肥										
		設計I	設計II	設計I	設計II	設計I	設計II	設計I	設計II	設計I	設計II									
新大方	砂質田	35kg	30kg	30kg	10kg	25kg	15kg	15kg	10kg	10kg	13kg	10kg	10kg							
														30kg	25kg	10kg	20kg	10kg	10kg	10~13kg
てんたかく	砂質田	45kg	40kg	40kg	10kg	35kg	10kg	10kg	10kg	10kg	12kg	-	-							
														40kg	35kg	10kg	30kg	10kg	10kg	-

※大豆跡田は、基肥量を5~7割減らし、倒伏に強い品種の作付に努めましょう。又、土壌改良資材を必ず施用しましょう。

## 適正な農薬使用で安心な米づくり

病害虫防除体系

水稲除草体系

雑草が残った場合

バサグラン粒剤  
移後15~25日(45日前まで)  
晴天が2日以上持続する時を選んで落水状態で散布し、3~4日間は入水や落水をしない

ノビエが残った場合  
クリンチャー1キロ粒剤  
移後7日~ノビエ4.0期(4.0期まで)  
湛水状態で散布し、30日間は湛水状態を保つ

トドメMF乳剤  
移後14日~ノビエ4.0期(4.0期まで)  
(但し、収穫5日前まで)  
湛水状態又は、湛水散布(水深3~5cmを3~4日間保つ)

ノビエとエダ葉が残った場合  
クリンチャーバスマE液剤  
移後15日~ノビエ4.0期(4.0期まで)  
(但し、収穫5日前まで)  
晴天が2日以上持続する時を選び、湛水状態で雑草の茎葉に薬剤が付着するように散布し、3~4日間は入水や落水をしない

トドメバスマE液剤  
移後15日~ノビエ4.0期(4.0期まで)  
(但し、収穫5日前まで)  
晴天が2日以上持続する時を選び、湛水状態で雑草の茎葉に薬剤が付着するように散布し、3~4日間は入水や落水をしない

ロイヤント乳剤(クサナメ対策)  
移後20日~ノビエ5.0期(5.0期まで)  
(但し、収穫45日前まで)  
湛水状態で雑草の茎葉に薬剤が付着するように散布し、3~4日間は入水や落水をしない

除草剤の効果高める7つのポイント

1. 代かきはていねいに行い、ほ場の均平に努める。
2. 代かき後に気温が高いと雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布する。
3. 代かきから田植までの期間を長くしない。
4. 湛水状態で散布する場合は水の出入りを止め、5cm程度の水深を保ち散布する。
5. 除草剤散布後は、5日間程度湛水状態を保つ。
6. 散布後7日間は「落水」や「かけ流し」をしない「止水管理」とし、水田外への流亡を防ぐ。
7. 田植同時散布機(こまきちゃん、イノベータ等)を使用する場合は、薬剤によって粒径や比重が異なる散布量が変わるので散布機の散布量調整を必ず行い、適量を散布する。

農薬の適正使用について ~ 農薬は使用基準を守り、正しく使しましょう! ~

- 農薬の使用前に、ラベルの内容を確認し、使用基準を必ず守って使用して下さい。
- 使用時期、使用量及び使用回数などの使用方法を遵守し、適正に使用して下さい。
- 散布は周囲への飛散を防ぎ、適用作物以外の作物にかからないように、風向きや風速に注意して行いましょう。

なのはな米の仕上げはカントリーで!

1. 良質米の出荷に努めています。  
・均てて高品質、おいしい米に仕上げます。  
・消費者へ今播米として出荷します。
2. 生産コストの低減につながります。  
・個人で乾燥機や初すり機を所有しないため、農機具代が低減できます。
3. 作業の省力化ができます。  
・乾燥、初すり、袋詰、出荷作業等から解放されます。  
・コンバインの刈取能力を最大に活かす、刈取期間が短縮できます。

なのはな農協では電子メールによる営農情報の提供を行っています。(登録は無料です)

営農情報提供サービスへのご登録はこちらから  
http://argo-navi.net/ja/mb\_login.php

栽培管理情報  
緊急的な気象情報と災害防止対策  
緊急的な管理情報  
その他必要と思われる情報

※上記以外の資材の使用や、緊急な技術対策が必要な場合は、事前に営農指導員や関係機関にご相談下さい。